

神戸市生活保護医療扶助関連事業実施計画 (データヘルス計画) 概要版

1. データヘルス計画とは

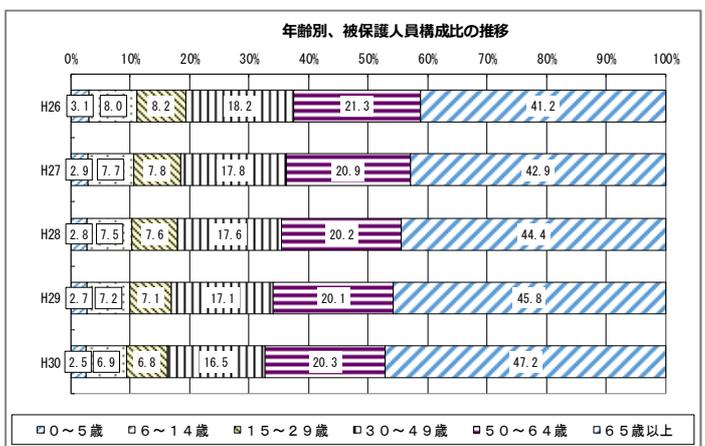
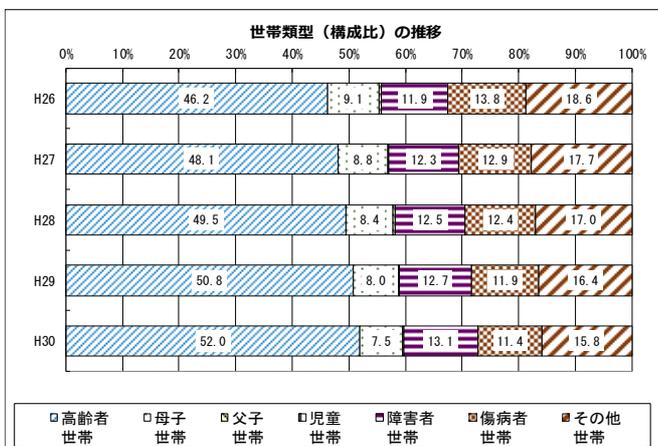
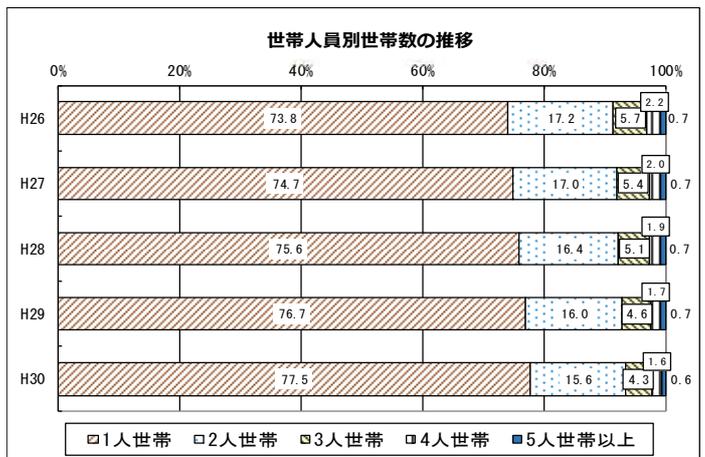
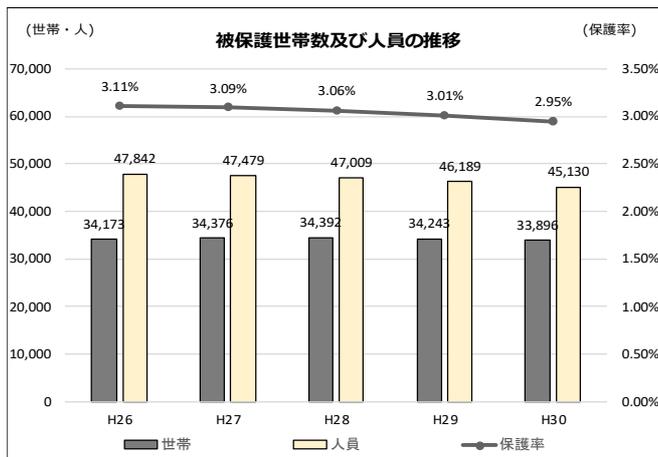
神戸市生活保護医療扶助関連事業実施計画(データヘルス計画)は、福祉事務所が生活保護受給者のために、生活習慣病の発症予防・重症化予防対策を中心に、きめ細かな健康管理支援等が実施できるよう体制を構築し、医療データ分析による課題抽出とその解決に向けた事業を計画・実施することで生活保護受給者の自立と医療扶助適正化を目指すものです。

2. 神戸市生活保護の状況

<神戸市生活保護における被保護世帯・被保護者の推移>

神戸市の平成30年の被保護世帯は33,896世帯、人員は45,130人であり、保護率は2.95%となっています。被保護世帯、人員、保護率ともに平成28年以降、減少傾向となっています。

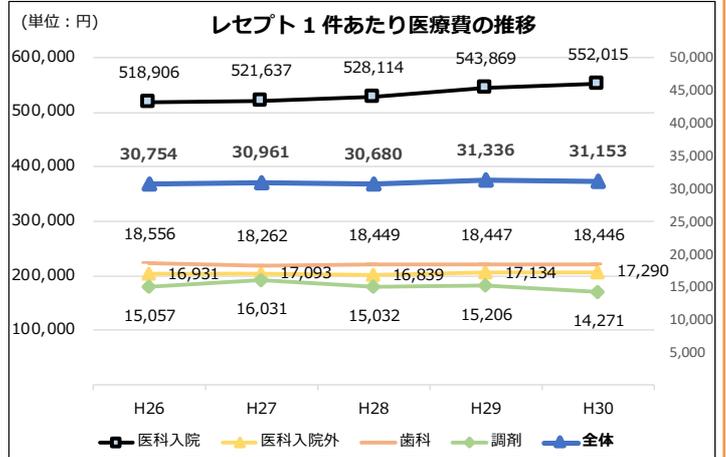
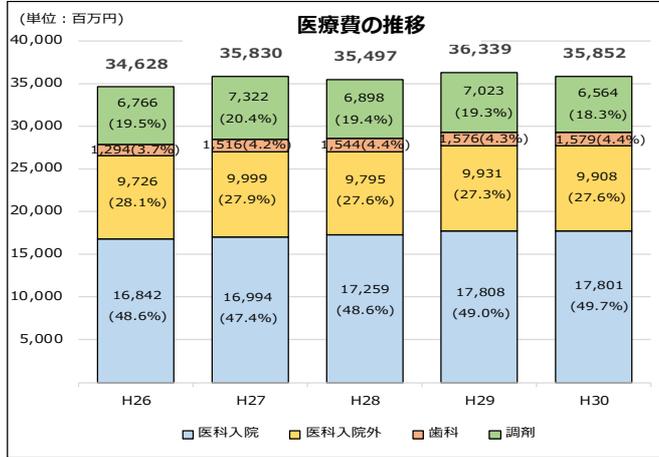
その他の状況としては、1人世帯割合の上昇、高齢者世帯の大幅増加、65歳以上の被保護者人員割合の増加などがみられます。



<医療費の状況>

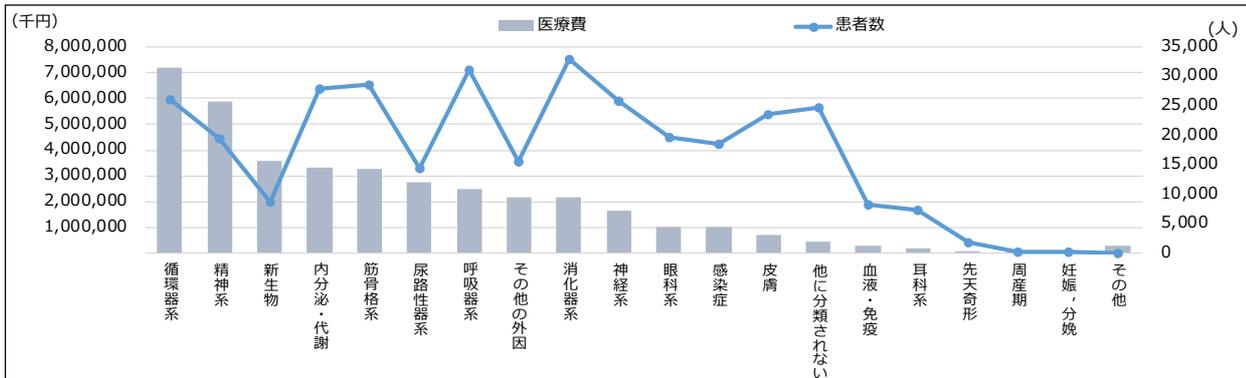
医療費は年間 350 億円前後で推移しています。その内訳としては医科入院が最も多く、次いで医科入院外となっています。全体に占める割合の推移をみると、医科入院の占める割合が増加傾向にあります。

レセプト1件あたりの医療費は、医科・歯科・調剤全体で 31,000 円前後を推移していますが、特に医科入院は 552,000 円と、直近3年で5%近く増えるなど伸びが見られます。



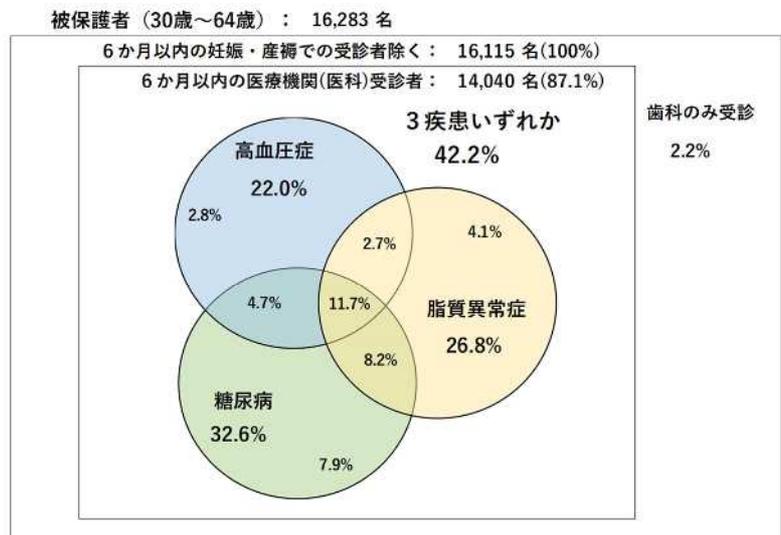
<疾病の状況>

疾病大分類別でみた医療費（他公費等含む）は、循環器系の疾患、精神及び行動の障害、新生物の順に高額でした。



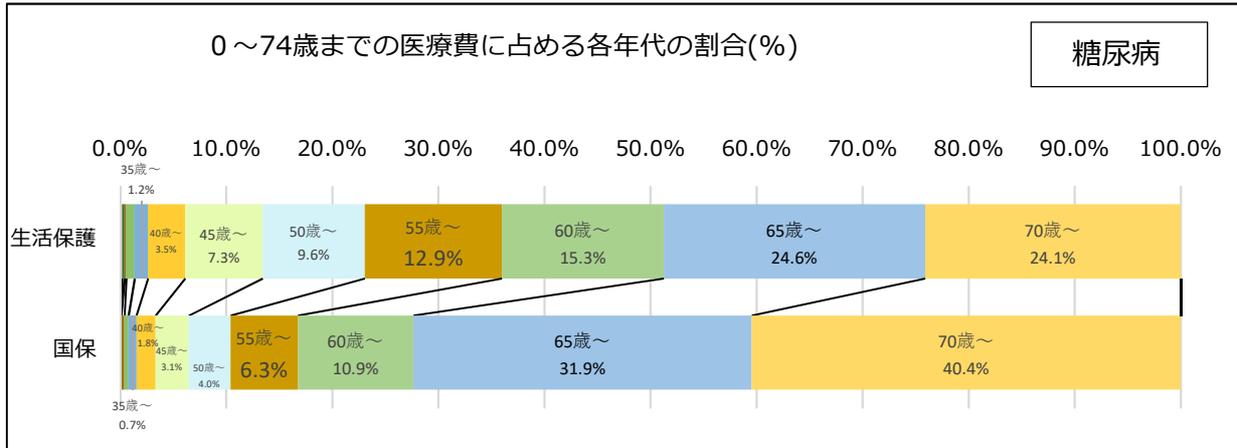
<医療機関受診の状況>

30歳～64歳の被保護者の医療機関の受診状況については、9割近くが何らかの理由で医療機関を受診しています。そのうち、生活習慣病の3疾患（高血圧症・糖尿病・脂質異常症）での受診割合は42.2%でした。



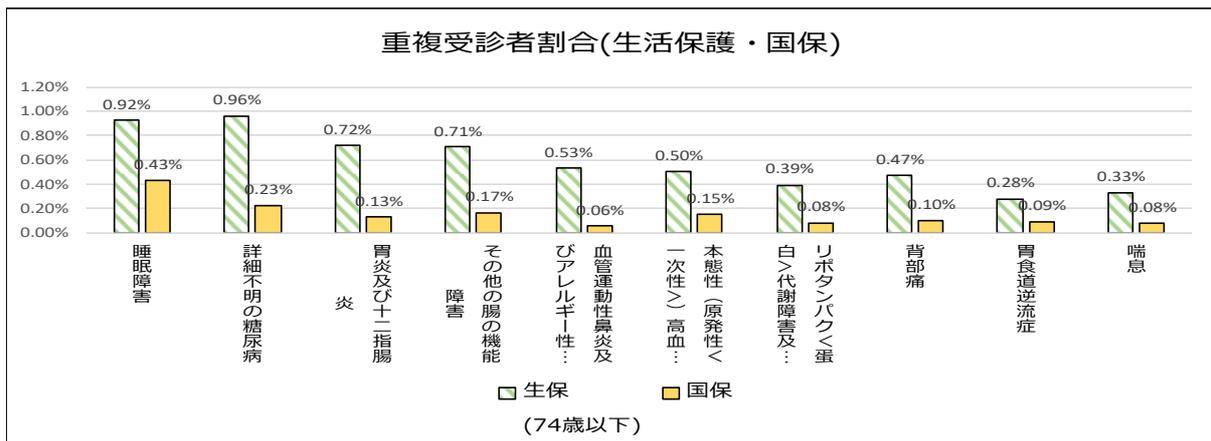
<主病名が生活習慣病（糖尿病）のレセプト 年代別割合>

0～74歳の当該疾病にかかる医療費総額を100%として、各年代の医療費割合を表しました。糖尿病の医療費総額では、60歳未満が36.0%を占め、一方、同年代の国保では16.8%となっており、生活保護では若年期から医療費がかかっている傾向が見られます。



<重複受診の状況>

同一傷病名での複数医療機関の受診について、該当人数が多かったのは「睡眠障害」「詳細不明の糖尿病」「胃炎及び十二指腸炎」でした。



<糖尿病と癌の関係>

糖尿病に罹患していない者と罹患している者の癌の割合を比較したところ、糖尿病患者の方が結腸、胃、肝及び肝内胆管、膵の癌の罹患割合が高くなっていました。

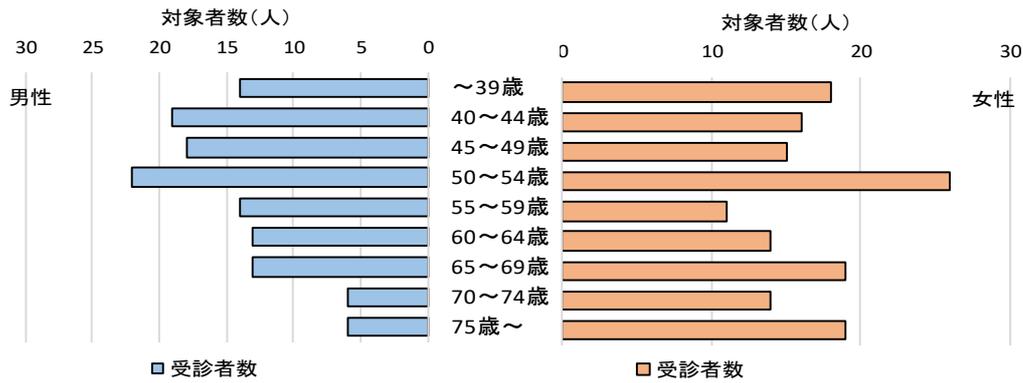
40～59歳

	人数			割合		
	糖尿病あり	糖尿病なし	計	糖尿病あり	糖尿病なし	全体
結腸	23	38	61	0.8%	0.5%	0.6%
胃	23	23	46	0.8%	0.3%	0.4%
肝および肝内胆管	16	11	27	0.5%	0.1%	0.3%
膵	8	6	14	0.3%	0.1%	0.1%
実診療人数	2,962	7,805	10,767			

※ I型糖尿病含む

<特定健診の状況>

平成 30 年度の健診受診者数は 277 名でした。男女比では女性がやや多く、年代では 50～54 歳の受診者数が多くなっていました。



3. 現状・課題と今後の対応

	現状・課題	対応
1	健康意識の低さなどから、健診受診率が低く、健康状態が把握できていない	<ul style="list-style-type: none"> ・全被保護者への健診制度の周知 ・30歳～64歳の重点勧奨対象者へ個別に健診受診勧奨 ・健診結果に基づく早期発見、早期治療 ・継続通院の支援（治療中断者を抽出し、個別に受診勧奨。必要に応じて医療機関受診同行）
2	国保と比較して、若年者でも生活習慣病の罹患割合が高い	<ul style="list-style-type: none"> ・（再掲）30歳～64歳の重点勧奨対象者へ個別に健診受診勧奨
3	適切な治療行動（継続通院・服薬、栄養・運動管理）がとられていないと考えられる	<ul style="list-style-type: none"> ・（再掲）継続通院の支援（治療中断者を抽出し、個別に受診勧奨。必要に応じて医療機関受診同行） ・特に糖尿病患者には、医療機関、保健事業担当課、民間事業者、ケースワーカーなど関係機関が連携した保健指導実施
4	重複受診、重複服薬	<ul style="list-style-type: none"> ・重複服薬対象者リストによるチェック ・頻回・重複受診者リストによるチェック ・医療機関への連絡、重複服薬者への指導
5	（経済的、身体的、精神的な）複合的な課題を抱えた被保護者が多く、健康管理支援だけでなく総合的な支援が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉事務所、保健事業担当課が連携した支援 ・依存症患者等のフォローのための精神保健福祉士有資格者を区に派遣
6	職員（福祉事務所、保健事業担当課）の効率的かつ効果的なアプローチが求められる	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者を活用し、レセプト等データ分析により対象者を効率的に抽出し効果的に支援

神戸市生活保護医療扶助関連事業実施計画（データヘルス計画）概要版

作成：神戸市保健福祉局生活福祉部保護課医療係

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 電話：078-331-8181（代表）